

チャペル週報

No. 24

2012.11.26～11.30

主はサムエルに言われた。「容姿や背の高さに目を向けるな。わたしは彼を退ける。人間が見るようには見ない。人は目に映ることを見るが、主は心によって見る。」

(サムエル記上16章7節)



神戸三田キャンパス I 号館

関西学院宗教センター

☆チャペル・スケジュール☆

時間 10:35～11:05 場所 各学部チャペル

- 11月26日(月) 神 堀川 敏 寛 (神学部非常勤講師)
経 「人間を考える⑦」 宮 脇 幸 治 (経済学部専任講師)
人 音楽チャペル ハンドベルクワイア
聖和 聖書物語「ピラトの裁判・十字架」
-
- 11月27日(火) 神 上ヶ原ハピタット
文 上ヶ原ハピタットによるチャペル
社 献血実行委員会
法 栗 林 輝 夫 (宗教主事)
経 「人間を考える⑧」 巖 廷 美 (経済学部准教授)
商 秋の被災地支援報告 杉 浦 健 (他、学生3名)
国 献血実行委員会
聖和 音楽チャペル パロックアンサンブル
総 鎌 田 康 男 (総合政策学部教授)
-
- 11月28日(水) 神 浅 野 淳 博 (神学部教授)
社 English Chapel Fr. Genesis (聖公会司祭)
法 「アドベント」 Christian M. Hermansen (宣教師)
経 English Music Chapel Timothy Dale Boyle (宣教師)
商 浜 田 和 樹 (商学部教授)
人 献血実行委員会
国 クリスマスにそなえて
聖和 「訪れ」 小 見 のぞみ (聖和短期大学宗教主事)
理 「クリスマスの賛美歌について」 松 木 真 一 (宗教主事)
総 村 瀬 義 史 (宗教主事)
-
- 11月29日(木) 神 学生YMCA
文 永 田 雄次郎 (文学部教授)
社 動詞シリーズ「つながる」⑤ 打 樋 啓 史 (宗教主事)
法 法学部音楽賛美シリーズ パロックアンサンブル
経 音楽チャペル ハンドベルクワイア
商 林 隆 敏 (商学部教授)
国 Jesse Olsen (国際学部准教授)
聖和 「聖和との出会い」ニノ宮 響 (人間福祉研究科生)
総 尾 藤 隆 (総合政策学部教授)
-
- 11月30日(金) 院 藤 川 義 (人間福祉学部4年)
神 小 川 晃 司 (保健館事務長)
文 English Chapel Andreas Rusterholz (宗教主事)
経 舟 木 讓 (宗教主事)
人 クランツ作り
聖和 チャペルカフェ
理 「マリアはどのような人？」 松 木 真 一 (宗教主事)
-

◇ランバス早天祈祷会 毎金曜日 8:20～8:40 ランバス記念礼拝堂(上ヶ原)

11月30日(金) アドベント(12/2～12/24)を迎えるにあたって 小 見 のぞみ (聖和短期大学宗教主事)

感謝の心

中 條 道 雄

私は1995年に長年滞在していたアメリカから帰国して、母校である関学に当時第8番目の学部として新設された総合政策学部で教鞭をとらせていただくことになって以来、六甲の「神戸ユニオン教会 (Kobe Union Church)」の会員として日曜礼拝に出席しています。この教会では欧米・アジア・アフリカなど世界の多くの国々からの人々が英語を共通語として神様を礼拝しており、関学を始め近辺の大学の学生も出席しています。普段の日曜は礼拝の後で「コーヒーアワー」の懇親の時を持ってから英語と日本語での「聖書の学び」の会を持っていますが、年に4回ほどは皆で昼食を共にする「ランチ会」もおこなって多様なバックグラウンドの人たちによる国際交流の時を持っています。先日の日曜は「感謝祭」礼拝と会員総会の後に「感謝祭ターキー昼食会」に多数が参加して交流の時を持つことができましたが、この日の礼拝での説教のタイトルはまさに感謝祭にふさわしい“Living with Gratitude” (感謝の生活) でした。この説教での聖書のみ言葉は新約聖書のテサロニケの信徒への手紙一の5章 16-18 節の「いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。どんなことにも感謝しなさい。これこそ、キリスト・イエスにおいて、神があなたがたに望んでおられることです」でした。このみ言葉は良く知られた言葉で私も関学の中学部に入学して以来、チャペルや聖書の時間で何度も聞いてきた聖句ですが、この「いつも喜んで」「絶えず祈る」「どんなことにも感謝する」ことの難しさはこれまでに常に感じてきたことでした。我々の現実の日常生活の中では全てが常に順調であることはなく、いろいろな困難や健康・家族・仕事などでの悩み等も起り「いつも喜んで」「どんなことにも感謝する」ことは非常に難しいことですが、そのためのキーワードが「絶えず祈る」であると最近強く感じています。これからクリスマスに向けて関学でも各キャンパスで多くのクリスマス行事が予定されています。私も毎年都合のつく限り「クリスマスツリー点灯式」、「関西学院クリスマス礼拝」などに出席させていただいていますが、今年も今一度「感謝の心」を新たにしてお祝いして迎えることができたいと思っています。

(総合政策学部教授)

●2012年度 人権教育研究室研究会公開研究会

メインテーマ：「今ここにある『貧困』の現実」

パート 2 サンフランシスコにおける貧困・ホームレス・HIV — 現状とケア体制 —

と き：11月30日(金) 9:00～10:30

ところ：関西学院大学図書館ホール

講 師：Barry D.Zevin氏 (医師) 通訳あり

●冬の献血週間のお知らせ

学生会宗教総部では、冬の献血週間を実施いたします。提供していただく血液は、兵庫県赤十字血液センターでの検査を経て医療現場に届けられます。皆様のご協力をお願いします。

期 間：12月3日(月)～7日(金)

受付場所：吉岡記念館ラウンジ

主 催：宗教総部献血実行委員会

●第192回ランバス演奏会のご案内

「パーセル&キャロル」

平井満美子(歌)、佐野健二(リュート)

演 目：夕べの賛歌、美しい島、さよなら美しい人、リュートブックララバイ、ほか

と き：12月6日(木) 17:00開演

ところ：ランバス記念礼拝堂(西宮上ヶ原キャンパス)

主 催：関西学院宗教センター <入場無料>

平井満美子と佐野健二のデュオは世界でも数少ないルネサンス、バロックリュート歌曲のスペシャリストです。現在までに発売されたデュオCD全ては雑誌「レコード芸術」の推薦盤に選ばれ、デュオリサイタルに対しては「大阪文化祭本賞」を受賞するなど各方面から注目されています。

●「関西学院クリスマス at ザ・シンフォニーホール」チケット販売のお知らせ

恒例の関西学院最大のクリスマスページェントが大阪のザ・シンフォニーホールで開催されます。参加費はチャリティーとしてアジアにおける奉仕活動などのために献金させていただきます。

開 催 日 時：12月21日(金) 17:30開場 18:30開始

参 加 費：2000円

チケット販売：関西学院大学生協/チケットぴあ/ザ・シンフォニーホールプレイガイド

お問い合わせ：宗教センター 0798-54-6018

コラム：関西学院紹介(4)千里国際キャンパス

関西学院千里国際キャンパスは阪急千里線北千里駅からバスで15分、箕面市小野原にあります。関西学院千里国際中等部・高等部(SIS)、Osaka International School of Kwansei Gakuin(OIS:幼・小・中・高等部)の生徒約700名の生徒たちがTwo School Togetherのもと一緒に学んでいます。この学校に制服、校則はありません。Five Respects(自分を大切にする・他の人を大切にする・学習を大切にする・環境を大切にする・リーダーシップを大切にする)という指針によって自分たちの行動を考えます。生徒たちの構成は全キャンパスで一般生、帰国生、外国生がそれぞれ三分の一、「校用語」は英語と日本語、アナウンスやプリントなどはバイリンガルが基本、音楽・美術・体育はSISとOISの生徒と一緒に学びます。毎週木曜日朝には、K.G.Timeで関西学院についても考えています。